

3月定例会

●会期 2月18日～3月23日(34日間)

新型コロナウイルス感染症対策の補正予算3千万円を可決



3月定例会議案採決(議案第14号)

今回は
市長提出議案 22件
議員提出議案 3件
請願 1件

【議案第21号】財産の取得に関し議決を求めることについて

保育所の厨房機器購入業者決定

現在、建設工事中の松尾地区保育所の厨房で使用する機器類等一式を2293万5千円で取得するものです。5社の指名競争入札により、株式会社中西製作所盛岡営業所が落札。同社と契約し、令和3年8月20日を納入期限とするものです。

【議案第22号】令和2年度八幡平市一般会計補正予算(第13号)

1億6455万円減額の補正予算

歳入、歳出それぞれ1億6455万8千円を減額するもので、一般会計の歳入歳出総額は262億21万4千円です。主な歳出は次のとおりです。

- ▼新型コロナウイルスワクチン接種業務委託料 681万円(減額)
- ▼地元の宿応援割誘客キャンペーン事業費補助金 865万円(減額)

- ▼新型コロナウイルス感染症対策資金保証料補給補助金 2559万円(減額)
- ▼除雪業務委託料 2700万円(増額)
- Q 新型コロナウイルスのワクチン接種関係予算が大幅に減額され、繰り越しとなっている。市民への接種時期は、いつ頃になるか。
- A 国では、4月中旬に全国にワクチンを配布する予定である。市では、高齢者施設入所者の優先接種を行う予定で、65歳以上の方には、5月中旬頃の接種を予定している。除雪費は、2700万円を計上しているが、年度末まで1週間余りである。積算の根拠を伺う。
- Q 除雪費は、当初予算では1億2千万円計上しており、12月補正では6千万円、増額した。今回は不足分の補正である。いつ雪が降るかも知れない。また、予算要求時点と議決日の差があるのでは、このような補正が生じる。3月31日の支出負担行為によって除雪費の執行額が確定するものである。

令和3年第1回定例会 賛否の分かれた議案の採決結果

議案名	議員名(会派名)																				議決結果	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
議案第14号 令和3年度八幡平市一般会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
請願第1号 安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一部採択
発議案第1号 安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※令和3年4月5日に改革クラブ代表から解散届が提出され、改革クラブは解散しました。なお、解散年月日は令和3年3月31日です。

※賛成○、反対● 工藤剛議長は採決に加わりません。

予防接種事業の専決処分

【議案第1号】令和2年度八幡平市一般会計補正予算(11号)の専決処分に関し承認を求めることについて

歳入、歳出それぞれ2071万円を増額し専決処分したので、議会の承認を求めようとするものです。主な歳出は次のとおりです。

- ▼新型コロナウイルスワクチン接種券封入封緘業務委託料 430万円(増額)
- ▼新型コロナウイルスワクチン接種業務委託料 681万円(増額)

- Q ワクチン接種券の封入封緘業務について一人一封筒ではなく、家族単位で一封筒を使用することにより、大幅な経費削減につながるのではないか。
- A 家族分を一緒にすると、取り違えなどの問題が発生する可能性がある。また、封入封緘業務は接種券や案内チラシなどの印刷代も含んでいるため封筒の量を減らしても大幅な経費削減とはならない。

コロナ対策予算3千万円の補正

【議案第7号】令和2年度八幡平市一般会計補正予算(12号)

歳入、歳出それぞれ9214万円を減額するものです。主な歳出は次のとおりです。

- ▼新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金 2560万円(減額)
- ▼宿泊飲食業経営継続支援補助金 3000万円(増額)

- Q コロナウイルスの影響により売り上げが落ちている事業者に20万円を補助する条件と申請手続きの方法は。
- A 12月・1月・2月それぞれ1カ月の対前年比30%減の事業者に20万円を補助する。前回、補助条件の50%減に比べ条件を緩和。手続きも簡素化して柔軟に対応する。財源である国からの臨時交付金の残高は。
- Q 令和2年度に関しては、総額8億5500万円のうち、6億7900万円を事業費に使い、残り1億7600万円は3年度へ繰越する。

質問した事項

- (八起会) 田村 善男 議員.....08
 - ・2021年度稲作農家の支援について
 - ・特定不妊治療等支援事業費助成金について
 - ・教育振興について
- (自由クラブ) 関 善次郎 議員.....09
 - ・市道の安全な通行管理について
 - ・水害防止策と対応について
 - ・新型コロナウイルス等について
 - ・スキーコース等の整備について
 - ・顔づくり施設について
- (日本共産党) 高橋 悦郎 議員.....10
 - ・ゼロカーボンシティについて
 - ・市の道路整備計画について
 - ・下水道事業について
 - ・大更駅周辺開発および大更駅前顔づくり施設について
- (市民クラブ) 渡辺 義光 議員.....10
 - ・ハロウィンターナショナルスクールを起爆剤とするまちづくりについて
 - ・公共施設の国旗掲揚の現状と取扱いについて
 - ・一般質問の検証、具現化（追跡質問）について
- (松西会) 古川 津好 議員.....11
 - ・施政方針演説について
 - ・教育行政運営基本方針について
- (改革クラブ) 工藤 直道 議員.....12
 - ・行政手続きにおける押印廃止とデジタル化・オンライン申請の推進について
 - ・コロナ禍における高齢者のフレイル予防対策について
 - ・新型コロナウイルスワクチン接種について
- 立花 安文 議員 (八起会).....12
 - ・日本遺産に認定された“奥南部”漆物語について
 - ・農地取得下限面積の緩和および企業の農地取得特例延長について
 - ・マイナンバーカードおよび上下水道料金の支払い方法について
- 羽沢 寿隆 議員 (八起会).....13
 - ・いっこうに治まる気配のないコロナ禍の中での経済政策について
 - ・八幡平市国民保護計画に示された防災基本計画の内容について
- 北口 功 議員 (無会派).....14
 - ・地域公共交通の活性化・継続事業について
 - ・新型コロナウイルス感染症対策の取り組みについて
 - ・子育て支援の取り組みについて
- 米田 定男 議員 (日本共産党).....14
 - ・盛岡通学高校生への通学費用の支援拡充について
 - ・指定管理者等の職員の賃金引き上げについて
 - ・ゴミの広域処理問題について
- 工藤 多弘 議員 (松西会).....15
 - ・当市の財政の見通しについて
 - ・自主防災組織について
 - ・障がい保健福祉施策について
- 小野寺昭一 議員 (八起会).....16
 - ・県立平館高等学校活性化対策について
 - ・市医師養成修学資金貸付事業について
- 熊澤 博 議員 (自由クラブ).....16
 - ・持続可能な開発目標(SDGs)について
 - ・コミセン活動の在り方について



(八起会) 田村善男 議員

稲作農家支援は

飼料用米と高収益作物



進む後藤川ほ場整備

問 飼料用米と高収益作物などへの転換と言われるが、具体的にどのような計画で進めるのか伺う。

市長 飼料用米については、水稲からの転換が比較的容易であることや、今後も需要が見込めること、また高収益作物などへ転換できるよ

う国の支援の活用や市の農業再生協議会の耕畜連携支援などの継続を考えている。

不妊治療助成効果

問 市の特定不妊治療等支援事業費助成金の実績と効果を伺う。

市長 平成22年度から令和

元年度まで10年間で延べ105件72組の方に907万3496円の助成を行った。

効果として72組のうち21組が妊娠し、お子様が生まれました。今後とも、国や県の動向を踏まえ不妊治療を受ける方の負担を軽くすることで支援していく。

いじめと不登校

問 増加に歯止めがかからない中、安心して学べる環境づくりが必要ではないか。

教育長 教育相談体制の一層の充実を図り、児童生徒に寄り添った不登校対策を推進していく。

中学校部活動

問 部活動の任意加入について伺う。

教育長 各学校では、毎年度「学校の部活動に係る活動方針」を策定および公表し、適切に部活動を実施しているものと把握している。



(自由クラブ) 関善次郎 議員

兄畑駅前夢大橋河道堀削

緊急性が高い箇所から

問 十数年前の台風および集中豪雨により、米代川が氾濫して兄畑駅前の国道282号に激流が流れ込み、地域が孤立するという甚大な被害が発生した。同じ被害を繰り返さないために、流石などで川底が盛り上り、河川としての機能が半分に

下に低下している箇所を河道堀削を行うべきでは。市長 3年度以降、緊急性が高い箇所から対応する。

グリーンラインに雪崩防止策を

問 市道兄川支線グリーンラインは、毎年春の残雪に

より、雪崩が発生して通行不能となる。車両などが巻き込まれる事故は幸い起きていないが、重大な事故が発生する前に雪崩防止策を。

市長 雪崩箇所の法面は国有林であるため、若手北部森林管理署に状況を説明し対応策を協議したい。

コロナ感染予防を

問 今後はコロナウイルスと共生して暮らす環境となる。市行政の水際対策はどのように考えているのか。

市長 ワクチンの接種と併せ、基本的な感染対策の推進について取り組んでいく。

大更駅前の賑わい

問 顔づくり施設と大更駅前商店街との連携を密にして四十年前の賑わいを。

市長 大更駅前へ民間会社の本社が移転する予定など複数の計画があり、徐々に賑わいが増すと考えている。



堆石で盛り上がった米代川夢大橋下



(日本共産党) 高橋悦郎 議員

12億円からなぜ22億円に 図書館を2フロアにする

問 大更駅前顔づくり施設が、3階建て12億円から、4階建て22億円になぜ変更になったのか。

商工観光課長 図書館を2フロアにするためである。

問 矢巾町にも、図書館と子育て施設が入った駅前施設があるが、駅周辺の人口

密度や駅利用者数は大更駅の10倍以上であっても、4階建て計画を予算の関係で3階建てに見直したが。

副市長 庁内検討委員会で検討する中で、アンケート調査なども勘案した結果、4階建てとなった。

問 この施設建設のアン



子育て支援施設のたからっこ広場

市道・下水道整備

問 総合計画では、5年間で市道27路線を整備する計画であった。しかし、完成

ケート調査結果を見れば、図書館利用者から取ったアンケートでは、「現在の図書館の場所がよい」が76%であった。保育園利用者の父母のアンケートでも、「子育て支援施設」を求めたのは8%だけであったが。

市長 アンケートでは、コ



建設中の校舎と寮(共に3階建て)

日本初のハロウスクール

市の起爆剤・定住人口増



(市民クラブ) 渡辺義光 議員

問 来年8月開校を目指してハロウィンターナショナルスクール安比ジャパンと

富裕層向けホテルなどの建設工事が急ピッチで進んでいる。世界一の学園都市を構想する大型プロジェクトに市民・県民の期待が大きい。国際人材育成、市民交流

するよう安比の魅力を発信し、市勢の発展・地域活性化に結び付け推進していく。

市長 ハロウスクールの創設で定住人口が増加する。学校や関係者との交流は、市民に勇気や希望を与える好機と期待している。昔、松尾鉱山が「雲上の楽園」と呼ばれたが、それに匹敵

市長 外国資本による土地の買収は防止しなければならぬ。今回の学校土地は賃貸契約の発行行為で許容できるが、民間の不動産売買は市では制約できない。

問 一般質問で数回政策提

言ってきた生涯学習人材バンクと介護支援ボランティアは制度化し実践していることを高く評価している。

市長 生涯学習人材バンクを広く活用し学習活動を進めてほしい。ボランティア活動については策定中の市高齢者福祉計画に盛り込む。



(松西会) 古川津好 議員

電子書籍を備えた図書館 時代の図書ニーズに対応

基金の取り崩し

問 電子書籍の発行部数が伸びている中、図書館にも電子と紙の両方が必要ではないか。コロナ禍で非接触・非来館サービスのバーチャル図書館を含め、今後の図書館の在り方をどのように考えているか。

問 過去には財政調整基金を20億円位は残して事業を進めたいとの事だったが、令和3年度末見込みは約11億円である。どのように考えるか。

市長 標準財政規模118億円の約10%であり、適正規模と認識している。

公共施設の管理

問 公共施設の未利用財産だけではなく、低利用財産も売却や貸付を検討すべきではないか。



時代は、バーチャル図書館へ!!

今冬の道路破損

問 低温のためか道路の破損がひどい。対策は。

市長 市民の通報を受け早期の補修に努めている。



(改革クラブ) 工藤直道 議員

利便性の高い行政手続き 簡素化に向け見直し検討



行政手続きの見直しを検討

問 市民の利便性、行政の生産性向上を図る観点から行政手続きにおける押印廃止とオンライン申請を推進すべきでは。

市長 手続きなどの実態把握調査を開始し、現在集計作業中である。住民の負担軽減、利便性を図る事を目的に、押印見直しと添付書類の簡素化を検討している。

問 子育て支援や介護などの手続きのオンライン化を早くとの声を聞くが、総務課長 鋭意取り組んで行くが、状況などの聞き取りもあり、一律に切替えるのは難しい面もある。

問 マイナンバーカードの普及に向けてサービスの拡大が必要と考えるが、

市長 制度推進プロジェクトチームを設置し、検討を行っている。システム改修や運用に係る委託手数料など、費用対効果が見込めず導入を見送っている。

問 コロナ禍における外出自粛生活において症状などの影響が懸念されるが、

市長 運動機能低下、社会との接点が無くなるなどの認知機能低下につながるのを、広報などで周知を図る。

問 副反応相談窓口は、

市長 市の健康福祉課で受け付ける予定。医学的見地が必要な相談は、県の相談センター。さらなる対応が必要な場合は専門医療機関を紹介し受診していただく。



立花安文 議員 (八起会)

日本遺産認定の周知方法 語り部の養成など検討中



漆塗りのお膳とお椀

問 漆文化の歴史的な価値が認められ日本遺産に認定されたが、今後の取り組み計画は。

市長 歴史や文化、伝統を紹介する動画などの制作や語り部養成を検討中である。

ト作成の考えは、地域振興課長 今、文化庁に看板設置やウェブ配信などさまざまな事業を申請中である。

問 農地取得下限面積の緩和

農地取得下限面積を引き下げは

和の考えは、農業委員会会長 これまで50アールだったが、次の農業委員会総会で面積を引き下げる。

問 一般企業が農地をリース方式により、営農をしている実績数は、

水道料金支払いにカードを加えては
問 水道料金の支払いにクレジットカードでの支払いを加えてはどうか。
市長 カード会社に支払う手数料が口座振替手数料より高いので慎重に検討する。



羽沢寿隆 議員 (八起会)

コロナ禍の中の経済対策 今年度借入利子補給継続



コロナ関連倒産の推移

問 コロナ不況が長引いている、対策はあるのか。

市長 今年度、借入した債務の利子補給は償還まで継続。新規の利子補給は考えていない。税の支払い猶予は終了したので、一般の猶予制度を利用してほしい。
問 市税の減収分は、

市長 昨年より1億3千万円、例年より1億2千万円減収し国からの助成はない。
問 クーポンや宿泊助成など新たな政策は、

大震災から10年 防災基本計画は
問 緊急情報システムJアラート、Mネットの詳細は、

市長 大地震や不慮の武力攻撃など大きな災害時に防災無線や携帯メールなどを通じて国民全体に最新情報を伝達するシステムである。
問 緊急時、特に停電時にはラジオの方が有効ではないか。今後、ハロウスクールなど外国人も多く訪れる。英語などでも発信できるコミュニケーションなどを検討してみているか。

市長 以前に検討はしたが



北口 功 議員 (無会派)

問 コロナ禍で厳しい経営環境にある交通事業者支援の、地域公共交通確保維持改善事業の内容と本市における具体的な取り組みは。

答 ステム導入整備経費の一部の支援などを行った。問 A-1を活用した相乗りタクシーが運行されている市があるが、本市では。

市長 地域間幹線系統補助があり、市内事業者に補助金210万円を交付し、岩手県北バスにICカードシ

市長 新型コロナウィルス感染症緊急包括支援交付金(介護分)があり、15法人の内10の介護保険法人が

介護職員の業務に従事することで、返還が全額免除される制度がある。



道路整備が進む大更駅前

地域交通活性化事業は 市内各社に補助金交付

新たなコロナ感染症対策について

問 福祉施設の感染拡大防止対策の状況と介護職の就職支援について伺う。

市長 福祉施設の感染拡大防止対策の状況と介護職の就職支援について伺う。

通学定期への支援拡充を

平館高校とバランス考慮



米田定男 議員 (日本共産党)

問 3年度予算では、通学定期購入助成は10%で441万円である。つまり保護者が負担しているのは約4千万円の巨額である。北森から盛岡間は3カ月定期で5万円余りで年間20万円を超える。学校の所在地によってはバス利用分も加わ

ることになる。子どもたちが、可能性への挑戦という舞台で過酷な経済的負担を強いられる、押しつぶされそうになるという社会は異常である。政治の責任でこのゆがみを正すべきである。

市長 平館高校への支援措置とのバランスを考慮して

生徒を優遇すべきだとの質問はしていない。盛岡と平館高校を比較する必要もないのであって、子ども自身が希望する学校に大きな経済的負担がなしに進学できる通学できる状況をつくるのが政治の仕事だといっているのである。

市長 交通費の負担を考慮するのであれば、平館高校という選択もある。



列車で通学する高校生(大更駅)



工藤多弘 議員 (松西会)

問 大更駅前顔づくり施設概算工事費税込み、22億円の財源は。

副市長 施設内に設ける図書館や子育て支援関連は、国の補助金を精査するほか市有財産整備基金が19億円ほどあり、過疎債などと組み合わせて対応したい。

問 図書館、子育て支援施設を利用する際、道路を横断して施設を利用すると予想されるが対応は。

副市長 施設内に設ける図書館や子育て支援関連は、国の補助金を精査するほか市有財産整備基金が19億円ほどあり、過疎債などと組み合わせて対応したい。



大更駅前周辺整備事業の現状

複合施設整備事業費は 国の補助金を精査する

早期な組織づくり

問 自主防災組織の目標数値をどこにおいているのか。

市長 今年度策定した八幡平市国土強靱化地域経済において、自主防災育成事業

共生社会の実現へ

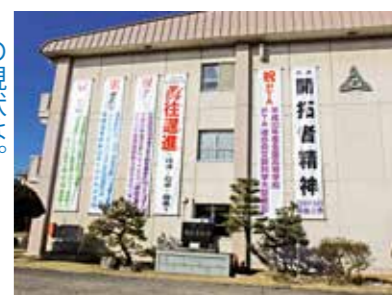
問 自主防災組織の目標数値をどこにおいているのか。



おの しょういち
小野寺昭一 議員
(八起会)

平館高等学校活性化対策

一丸となり取り組む



岩手県立平館高等学校

問 市内唯一の高等教育機関である平館高校振興のため、八幡平市、市教育委員会、商工会、観光協会、体育協会、同窓会、PTA、市民と一緒にあった支援、活性化対策は。

議会を設置し、メンバーとして企業や福祉施設、公共施設、市役所、商工会、図書館の職員、NPOや同窓会、PTAの代表、学校関係者となっている。また、平館高校の生徒が市内の中学校を訪問し、後輩たちに平館高校の紹介を行ってお

り、地域に対して多くの貢献をし、親しまれている高校であることを伝えている。さらに中学校から高校への切れ目ない支援体制を構築するため、令和3年度から学習支援員が配置できるよう支援していく。制服代への支援額などについては、

他の状況を伺いながら今後検討し、平館高等学校活性化対策に取り組んでまいりたい。

市長 市の貸付事業で、現在養成中の医学生は、2年生が1名と4年生が1名の計2名である。加えて、養成を完了した医師が2名となっていることから、将来的に医師不足の懸念は少ないものと考えている。

医師養成修学資金貸付事業

問 八幡平市医師養成修学資金貸付事業での確保医師

の現状は。

寺田コミセンが優良表彰

地域活動盛り上げの賜物



くまざわ ひろし
熊澤 博 議員
(自由クラブ)



受賞にはかむセンター長

問 寺田コミセンが文部科学省の優良公民館表彰を受賞した。活動がなぜ評価されたのかを検証し、市全域に生かすべきではないか。

問 公民館のときから寺田のお祭りだけが盛り上がるのはなぜなのか。

中で、みんなで考え解決しようとする姿勢が、ほかの地域より高いのではないか。

SDGs についての市当局の考え方を伺う。

ていかなないとSDGsの運動も成功しないのでは。

市長 今回の優良表彰は、地域に根差したコミセン活動と地域住民の盛り上げの賜物と理解している。

地域振興課長 地域防災活動への取り組み、寺田喜劇団を立ち上げ、練習・披露し楽しむ、七時雨憩の湯のグラウンドゴルフ場の管理など、いろんなつながりの

SDGs の考え方を踏まえ推進

市長 予算案は第2次八幡平市総合計画の将来像である。SDGsの理念を踏まえたまちづくりを推進する考えで編成したものである。

一番の基本は、八幡平市の未来を担う子どもたちに、いかに継承していくか、どういうスケジュール感でいるんな施策展開をしていくかということだと考える。

議会の動き

(1月7日～3月31日)

1月

- ▶7日 議会広聴広報常任委員会
- ▶18日 議会議員定数調査特別委員会
- ▶27日 議員全員協議会、議会改革推進会議
- ▶29日 盛岡北部行政事務組合議会全員協議会

2月

- ▶4日 議会改革推進会議
- ▶10日 議会運営委員会
- ▶12日 産業建設常任委員会
- ▶19日 令和3年第1回定例会（～3月23日）、議会改革推進会議、議会広聴広報常任委員会、タブレット端末調査研究部会、岩手県後期高齢者医療広域連合議会2月定例会
- ▶19日 盛岡地区広域消防組合議会全員協議会、盛岡地区広域消防組合議会2月定例会
- ▶24日 議会議員定数調査特別委員会
- ▶25日 令和3年盛岡北部行政事務組合議会第1回定例会

3月

- ▶4日 総務常任委員会
- ▶5日 教育民生常任委員会
- ▶8日 議会改革推進会議タブレット端末調査研究部会合同会議
- ▶9日 予算特別委員会、議会運営委員会、市政調査会理事会
- ▶10日 予算特別委員会、議会議員定数調査特別委員会
- ▶15日 予算特別委員会、教育民生常任委員会、タブレット端末導入調査研究結果報告書引き渡し式
- ▶16日 予算特別委員会、議会運営委員会
- ▶17日 予算特別委員会、議員全員協議会
- ▶19日 予算特別委員会、議員全員協議会
- ▶23日 議会運営委員会、タブレット端末調査研究部会
- ▶31日 タブレット端末調査研究部会、議会広聴広報常任委員会